



倒壊したビニールハウス

## 降雪でビニールハウス419棟が倒壊

12月20日、村内でビニールハウスの倒壊が相次いで発生しました。

12月20日は群馬県北部に大雪警報が発令。およそ一晩降り続け、40センチ70センチの積雪量に。村内でビニールハウスによる



パイプの回収の様子

経営を手がける農家では、21日未明から、積雪により、ハウスの天井部の骨材が倒壊する事例が多発しました。

被害は報告のあった範囲内だけでも村内の農家14世帯、419棟のハウスで発生。被害は村内全域におよびました。

被害面積は84、326㎡。倒壊したパイプハウスの被害額は大きく、総額で34、065千円にものぼりました。

降雪によるビニールハウスの倒壊被害は、2年前の平成14年1月にも発生。この時は、村内全域で1、371万円の被害額になっています。

被害にあわれた人に心よりお見舞申し上げます。

## 昭和の湯に手作りの水車を寄贈

椽久保の高橋政男さん（60歳）がこのほど昭和の湯に手作りの水車を寄贈しました。

高橋さんは、趣味として退職後から小型の水車を作り始め、設計から作製まですべて高橋さんが一人で行っています。これまでには9個の水車を作成しています。

今回寄贈してもらった水車は、直径2メートルほどの水車で、この大きさの水車の作製は自身2個目。水車の作製は、円の割り出しや中心と外周とのバランス

などが難しいとのことですが、高橋さんは昨年12月28日から作り始め、12日間で完成させました。

寄贈は、昨年の「昭和の秋まつり」で金魚すくいの池に小さな水車を持つてきて、飾っておいたことがきっかけとか。高橋さんは「今回の水車の出来はええは90点。昭和の湯に来たお客さんの目を少しでも楽しませることができれば」と話していました。

水車は昭和の湯の中庭に設置してありますので、皆さんぜひご来館ください。



水車の設置を行う高橋さん

## 若妻会が社会福祉協議会に5万円を寄附

村若妻会連絡協議会（保坂公恵会長）ではこのほど村社会福祉協議会に5万円を寄附しました。

寄附したお金は、村文化祭で行ったチャリティーバザーでの売上金の一部です。

1月30日には高橋信雄村社会福祉協議会長へ寄付金を手渡しました。

「村の福祉のために役立ててください」と保坂さん。高橋会長は「会員皆さんの気持ちを汲んで、大切に使用させていただきます」と話していました。



寄附金を手渡す保坂会長



2日間に分けて行われた講演会

# むらづくりINしょうわパートII開催

昨年続く第2弾「むらづくりINしょうわパートII」が村公民館多目的ホールで行われました。

1月19日は、内閣府から観光カリスマとして認定された山形県寒河江市の工藤



工藤さん



横森さん

順一さんを講師にむかえ講演を実施。工藤さんは「観光産業は感動のドラマ」を演題に講演。「昭和村は元気がない。元気を持って頑張ることが農業経営には大切」と語っていました。

また1月26日には、長野県八千穂村の横森正樹さんが「正しい野菜作りで大もうけした男」を演題に講演。横森さんは、これまでの農業経営を交えながら「農業は他産業と比べると今まで甘えていた部分がある。その分、今後はチャンスもある」と歯切れ良く語っていました。

## 委員長に綿貫さん、代行に高橋さん、新委員に金井さん

1月18日付で村教育委員長に綿貫征二さん（森下中）が選任されました。

同日付で村教育委員長職務代行者に高橋英一さん（常木）が選任されました。

また、村教育委員長として活躍された松井文夫さん（大河原）は、1月17日付で任期満了。

新しい教育委員に金井利司さん（赤谷）が選任されました。金井さんは、これまで大河原小学校PTA会長、体育指導委員を歴任し、村の教育振興に尽力されています。

### 前教育委員長



松井文夫さん  
(大河原)

### 新教育委員長



綿貫征二さん  
(森下中)

### 新教育委員



金井利司さん  
(赤谷)

### 村教育委員長職務代行者



高橋英一さん  
(常木)



100人が参加しました

### 婦人会研修会でマイバッグを学習

婦人会（吉野一江会長）による平成15年度の研修会が2月2日、村公民館多目的ホールで行われました。参加したのは、会員やおよそ100人です。

開会行事の後、参加者たちは消費生活問題学習会で「マイバッグ運動」について学習。昨年9月から10月にかけて行われたマイバッグのアンケート調査の集計結果を基に、松井正子副会長が発表しました。

この後、参加者たちは加藤村長と意見交換会を実施し、活発に意見を述べていました。